

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和2年10月7日

設置・運営主体	春日部市		
設置主体	春日部市		
経営主体	春日部市		
事業所名 (施設名)	春日部市立第6保育所	種別	保育所
所在地	〒344-0004 埼玉県春日部市牛島1276番地		
電話	048-754-5040		
FAX	048-754-5040		
Email	hoiku06@city.kasukabe.lg.jp		
URL			
施設長氏名	今井 和美		
調査対応担当者	今井 和美 (所属、職名：春日部市立第6保育所長)		
利用定員	60名	開設年	昭和 48年 4月 1日
理念・基本方針			
<p>【保育理念】一人ひとりの子どもに寄り添い、家庭や地域の人々と協力し合って、豊かな人間性を持った子供を育成します。</p> <p>【保育方針】</p> <p>(1) 心身共に健康に、安全で安定して過ごすことのできる環境の中で楽しく活動します。</p> <p>(2) 地域の人や異年齢・異文化の様々な関わりを通して一緒に遊ぶ楽しさを経験しながら、優しい心を育みます。</p> <p>(3) 自然や身の回りの様々なものを取り入れ、物を大切にすることや生命の尊さに気づける経験を重ねていきます。</p> <p>(4) 「おもしろい」「やってみたい」という気持ちを大切に、意欲的に様々な活動に取り組む中で、自己を十分に発揮する力を育みます。</p> <p>(5) ことばへの興味や関心を育て、豊かな心・思考力・表現力の基礎を培います。</p> <p>(6) 一人ひとりを大切に、個性や個人差に配慮した保育を行います。</p> <p>(7) 地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行います。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～土曜日 午前7時から午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		
1歳児	8	8	1		
2歳児	12	10	1		
3歳児	11	12	クラス編成 3.4歳児混合クラス 1 4.5歳児混合クラス 1		
4歳児	11	11			
5歳児	12	11			
計	60	58	3	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		12人	
うち	保育士	10人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	人	その他（委託調理員） 2人
非常勤職員数		7人	（常勤換算 人）
うち	保育士	3人	（常勤換算 1.51人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員 委託調理員	2人	（常勤換算 人）
	その他（委託用務員）	2人	（常勤換算 人）
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		47.4 歳	（ 45.4 歳）
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		14 年	（ 15 年）
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	—
休日保育	×	
障害児保育	○	—
一時預かり保育	○	1700円又は2000円
地域子育て支援センター	×	
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）	×	
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： _____ ）		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 _____ 31年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

5人

・ボランティアの業務

交通安全教室（春日部警察署 交通防犯課職員）：児童、職員を対象とした交通安全指導

【実習生の受け入れ】

・平成 _____ 31年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 11人（保育士5名、看護学生6名）

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	757.95㎡		
	児童1人あたり	12.6㎡	(計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	2087.05㎡		
	児童1人あたり	34.78㎡	(計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	48年	

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・苦情受付に関する掲示(年度当初)を行い苦情受付窓口を事務所に設置している。
・送迎時の保護者とのコミュニケーションを図り、些細なことでも心置きなく伝えてもらえるよう努力している。意見等をいただいた時には、「貴重な意見をありがとうございます」という気持ちを持つことと、言葉を添えることをしている。
・年度末にアンケート実施し、結果を公表している。
・一日保育士体験を推奨し、保育所生活を実際に体験したうえで、感想をいただいている。
・年3回の懇談会(全体会、個別懇談、保育参観)を行っている。特に個別懇談では、場所や時間の設定に配慮し、保護者の思いを引き出せるようにしている。
・保護者会独自のアンケートがあるが、当保育所への意見、要望はあがっていない。

※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から行事関連については中止や縮小等の見直しを行い実施している。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・以上児クラスが混合クラスのため年齢別保育を月1回～2回以上実施し、製作遊びや運動遊びなど年齢に添った活動を設定し実施している。その様子を掲示や保育所だより等で保護者へ周知している。また、保育計画は年齢別に作成し、保育を実施している。混合クラスのメリットとして、年下の子どもが年上の子どもへのあこがれの気持ちを持つことができたり、年上の子どもが年下の子どもへの優しさやいたわりの気持ちをもって接することなどから豊かな情緒の育ちに繋がっていると考える。
・保育テーマ「体力づくり」と称し、年齢ごとに取り組む体の動きをあげ、できたらシールを貼るボードなどを作成、掲示し、保護者へ配信している。
・自然豊かな所庭の芝生という環境の良さから転んでけがを負うなどが少なく、活動的に過ごしている。また、虫や小動物の宝庫で、特に以上児は、所庭に出ると昆虫探しが始まり、捕まえた昆虫や小動物を図鑑で調べることができる環境がある。飼育ケースをすぐに手が届く場所で管理し、捕まえたものは、遊びの終わりには所庭に返すことを約束としている。命の尊さを知り、優しさや思いやり情操教育の一環となっている。
・保育所近隣には発達支援施設ふじ学園や小学校がある。ふじ学園とは、年5～6回の交流を行っている。(今年度は中止)また、小学校の校庭隅のスペースにて活動させてもらうことも多くある。職員は、年3回実施している巡回支援にて、臨床心理士とふじ学園の職員を迎え、気になる子どもへの対応の仕方を学んでいる。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

 0 回 （平成 年度）